

## 教員間の連携や共通理解を図ることを目指した実践提案

意見を出し合い、効率的にまとめる話し合いの工夫

～教員間の連携や共通理解を図るために～

提案者 埼玉県立宮代特別支援学校 <sup>えびさわ</sup>海老沢 ひとみ 教諭

### 実践に至った背景

- ◆ 日々の指導が、年齢や経験年数等の異なる教員によるチームにより行われている。
- ◆ 授業を行う際にはチーム全員が指導内容・方法を理解している必要があり、教員の連携と共通理解が不可欠である。
- ◆ 平成19年度に校内の全教員を対象として行った「集団討議及び指導上の困難点」に関する調査の結果から、「教員全員が意見を出し合う」、「出された意見をまとめる」、「話し合った結果を共有する」ことができれば、充実した指導が展開するのではないかと考えた。

### 実践の内容

#### ● カード整理法を活用した話し合いの導入

- 1 校内研修における導入
  - ・ 自立活動部の校内研修において、「児童生徒の課題関連図」を作成【資料1】
- 2 <進め方>
  - (1) 児童生徒の日頃の様子から「あれ？おや？」と感ずることをカード（2.5cm×7.5cm大の付箋）2～3枚に書く。
  - (2) 3～7人のグループを作る。
  - (3) グループで、順にカードを読み上げながら模造紙に貼る。  
【資料1】
  - (4) 似たようなことを書いたカードを持っている教員が、カードを読みながら先に出されたカードのそばにカードを貼っていく。
  - (5) 似たようなカードを出し切ったら、新たに違う内容のカードを一枚出し、4、5をカードが無くなるまで繰り返す。
  - (6) カードのまとめりごとにタイトルをつけ、背景要因などを考慮しながら児童生徒の実態や課題を整理していく。
  - (7) 参加者に感想を記入してもらう。

校内研修は、年2回実施

5月…課題関連図作成

12月…課題関連図の見直し

話し合い後に、話し合った軌跡が模造紙に残る

## 成果や効果

《実践した教員の感想から》

- 経験の浅い教員には、わかりやすかった。
- 実態把握に自信がなく不安であった時に、他の先生の意見を聞くことができとても参考になる。
- 経験の長短に関わらず、全ての意見を同じレベルで扱うことができ、上下関係がなくなる。
- 全員がカードを書くので、必ず全員が発言することができる。
- 一人で考えるよりもみんなで考えることで、一人では気づかないことに気づけた。
- 他の先生の意見を聞き「こういう見方もあるんだ」と分かり、生徒を見る目が養えると感じた。
- 多角的に児童生徒を見ることができた。
- 担任全員で、クラスの生徒を見ている感じがした。

## 実践事例を他校でも活用できる方策等

### \* 他校で導入する際のポイント

- ☆ 話し合いを行う人数は3～7人が最適である。
- ☆ カードを記入する際は、一枚のカードには一つのことを具体的かつシンプルに記入する。(1～2行程度に収める)
- ☆ 専門用語は避けて、わかりやすい表現で記入する。
- ☆ 付箋紙は2.5cm×7.5cmのサイズが使いやすい。
- ☆ 糊の位置は左側にくるように使うと、貼り付ける際に扱いやすい。

### \* 失敗しないための秘訣

- ☆ 話し合う前に、以下の点を司会（進行役）が参加者全員に伝える。
  - 意見を聞きながら、うなづいたり共感の言葉（そうそう、同じ、なるほど等）を言ったりして、意見を出しやすい雰囲気を作る。
  - 人の話は最後まで聞き、否定や批判はしない。

### \* こうすればより高い効果が得られるという方策

- ☆ 話し合いの場には、付箋紙やホワイトボードを必ず用意し、話し合いの経過を見える形（視覚化）にする。
- ☆ 話し合いを進める時は、司会が全員の意見を引き出したり、出された意見に共感したりする等、意見を言いやすい雰囲気づくりを心がける。
- ☆ 司会の他に、記録をする人やカードを貼りかえる人など、全員が話し合いの流れに関われるような役割分担ができるとさらに話し合いが活性化する。

### 外部有識者の評価

- 特別支援学校では複数の教員で指導にあたるため、情報共有は特に重要であり、良い実践提案である。
- 若手教員の指導力や子ども理解の向上にもつながる取り組みである。
- 話し合いがどのように深まったのかという考察があるとよい。
- 意見が出しやすく、教員間で情報共有が図れることはとても良い。
- 似たような技法は以前から行われていが、それらを実践提案の形で取り上げることが重要である。
- 成果を学校における教育改善につなぐことが大切。

## 実践例：「課題関連図作成」

本校では、自立活動研修の一環として、児童生徒の「課題関連図（実態把握）」の作成に取り組んでいる。



## 「課題関連図作成」の様子



実態や課題の関連性などの意見交換を行うことで、共通理解を深められる。

カード整理法を用いることで、チーム全員の意見をまとめることができる

